

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (初等・小) (2単位)	3. 科目番号	EDTE2104
2. 授業担当教員	池田 芳和		
4. 授業形態	講義、グループ討議を用いる。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	学校における教育活動の中核である授業を、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現し、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。		
8. 学習目標	1. 学ぶことの意味を捉え直し、問いを持つことの大切さを理解するとともに、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。 3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	○教科書の各章の要点整理及び講義内容の整理 ○課題 「授業の構成要素のうち、あなたが大切にしていきたい要素を三つ選び、その訳を1000字程度で論じなさい。」		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社、2018年。 【参考書】 多田敏文著『教育の方法と技術』学芸図書株式会社、2010年。 【参考資料】 生徒指導提要 (平成22年3月告示 文部科学省) 小学校学習指導要領 (平成29年3月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 「何をどのように教え・学ばせるのか」「何が出来るようになるか」という観点から、教育方法を習得することが出来たか。 2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。		
12. 受講生への メッセージ	これまでの自己の学びを振り返りながら、学びの意味を再認識し、子どもの認識に応じた教育方法を新しい学習指導要領に即して考える。		
13. オフィスアワー	授業日の授業以外の時間、随時 (開講時に、詳細は伝達)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーションー教育方法とは ・教育方法の意義と学びとの関係を考え、 自己の教育に対する考えを整理する。	事前学習	シラバスを読んで、学修の概要を知る。
		事後学習	「学び」について考えを整理する。
第2回	学ぶとは？ ・学ぶとはどういうことかを考えると ともに、学びの発達についてグループで 考え発表する。少人数グループでまと めた意見を、書画カメラを使って発表 する。	事前学習	「学びの構造」を読み、感想をまとめる。
		事後学習	ピアジェの「問いと学び」を読み、その関係をまとめる。
第3回	言葉と思考 ・「問いと学び」を読んで、学ぶとはど ういうことかを考えるとともに、学習指 導要領で重視されている「言語活動の 充実」との関連についてグループで話 し合い、書画カメラを使って発表する。	事前学習	「学び」とはどのようなものかレポートを書く。
		事後学習	言葉と思考の関係について、まとめる。
第4回	学校教育の課題 ・子どもの現状や現代学校教育の課題に ついて知るとともに、授業の質を高め るために「主体的・対話的で深い学び」 など、改善の方向を考え、国の動向に ついて理解する。書画カメラを使って 発表する。	事前学習	教育課題の種類とその原因を調べる。
		事後学習	中教審答申、学習指導要領総則をよみ、授業改善の方向をレポートする。
第5回	教育課程の工夫 ・子どもたちの実態から考えられる教育 課題解決のために、どうすればよいの か考えるとともに、国はどのような考 えで教育を進めようとしているのか学 ぶ。	事前学習	中教審答申「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について」を読み、課題をとらえる
		事後学習	学習指導要領総則の「学校段階等間の接続」を読み、「三つの自立」「資質・能力の三つの柱」についてまとめる。
第6回	教育課程の基準と教育方法 ・学習指導要領では、「主体的・対話的 で深い学び」のほかに、どのような教 育方法を用いることを提案しているか を調べ、情報教育の在り方について、 グループで話し合い、発表する。	事前学習	教科書「総則編」を読んでおく。
		事後学習	情報機器の有効な活用やプログラミングの知識について整理する。
第7回	情報教育と指導の留意点 ・少人数グループでまとめた意見を基に、 新しい教育を推進するための情報教育 について、ネット社会の功罪について 学ばせ、話し合いを深める。	事前学習	教科書「総則編」を読んでおく。
		事後学習	グループで討議したことを整理しておく。

第8回	学習活動の工夫 ・総則「教育課程の実施」を基に、学習過程における、見通しや学習形態の工夫などについて調べ、効果的な学習方法の在り方をグループで考え、発表する。	事前学習	教科書「総則編」を読んでおく。
		事後学習	効果的な学習方法の在り方について、学修したことを整理しておく。
第9回	体験活動と振り返り学習 ・総則「教育課程の実施」を基に、体験活動の進め方について、資料を調べ、効果的な学習にするための「振り返り学習」の重要性について、グループで考える・発表する。	事前学習	教科書「総則編」を読んでおく。
		事後学習	体験活動と振り返り学習は一体であることをまとめる。
第10回	授業の構成要素 ・よい授業を行うために、授業の構成要素について、学生の体験を基に、グループで構成要素を考えさせ、その根拠についてまとめ、発表する。	事前学習	どんな授業に魅力を感じたのか、個々の体験をまとめておく。
		事後学習	授業の計画・設計・実施・評価等に分けてまとめる。
第11回	指導計画作成の配慮事項 ・授業の構想、授業の設計段階で重要な知識についてしらべ、グループで大切なことについて話し合い、発表する。	事前学習	指導計画の作成について、教科書を読んでおく。
		事後学習	何を、どのように、学ばせるのかについて、総則を基にまとめる。
第12回	教師の指導技術 ・教師の姿勢態度や教師の働きかけの重要性について、資料を調べ、グループで話し合い、まとめを発表する。	事前学習	学級経営の方向性について調べておく。
		事後学習	教師の姿勢態度や教師の働きかけの重要性について、教育実習に向けて整理して、まとめる。
第13回	教材教具の活用と条件作り ・良い授業を作るための条件として、教材教具の取扱、情報機器の活用、コンピュータ、電子黒板、デジタル教科書等の活用上の配慮事項、その他の条件作りについて調べ、授業の効率を話し合う、発表する。	事前学習	教材教具の効果について、調べておく。
		事後学習	教材教具の活用と条件作りについて、まとめる。
第14回	授業の評価とその方法 ・授業の評価について、目標の実現度はかり方や児童への生かし方について調べ、良い評価についてまとめ、発表する。	事前学習	授業の評価の意義について、調べておく。
		事後学習	授業の構成要素について、自分の大切にしたいことを選びレポートを考える。
第15回	私の授業構成論と教育方法のまとめ ・授業の構成要素について、自分なりの考えをまとめ、発表する。 ・教育方法論のまとめをする。	事前学習	授業の構成論についてのレポートのポイントをまとめる。
		事後学習	教育方法論で得た学びを整理する。